

辺野古護岸工事着手6年

海上から「新基地反対」

海上から工事現場に向かって「新基地建設をやめろ」とアピールする抗議船とカヌーチームの人たち=25日、沖縄県名護市辺野古



沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設で護岸工事が着手されてから6年となっ

た25日、ヘリ基地反対協議会と海上行動チームは辺野古・大浦湾の海上で、新基地建設反対と工事の即時中止を訴える海上アピールを行いました。

抗議船7隻が音楽を鳴ら

し、カヌー36艇が浜から海

上パレードをして、埋め立

て土砂の搬入作業に利用さ

れている「Kの」と呼ばれる護岸の近くに集まりまし

た。

平和の鐘を鳴らしたあ

と、66人の参加者が「埋め

立てをやめろ」「美ら海を

守れ」と唱和しました。

ヘリ基地反対協の仲村善

寿共同代表は「新基地反対

の民意はゆるぎなく続いて

いる。全国、全世界とも連

携して新基地を止めよう」と呼びかけました。

オール沖縄会議の福元勇

司事務局長は「海上や辺野

古ゲート前のたたかいが新

え、たたかい続ける決意を

示しました。

る」と激励しました。

カヌーチームのメンバー

がマイクを握り、リレーで

一貫アピールをしました。

「大切なのはこの場所で声

をあけ続けること」「あの

日、石が落とされるまで」

の海はもつと言かつた。あ

の時を忘れない。みんなで

シュゴン、サンゴの海と生

きものの波を取り戻そう

（戦争につながる一切のも

のを拒否します）などと訴

え、たたかい続ける決意を

示しました。